

「倉敷義倉 江戸時代の福祉制度」



《講師プロフィール》

昭和47年 広島市生まれ。
平成8年度 岡山大学大学院教育学研究科修了。
玉野市立小学校教諭、岡山県立図書館職員などを
経て、令和5年度から現職。
主な編著書には、『現代語訳 備中兵乱記』（山陽新聞社、2022年）などがある。

福祉制度のさきがけ倉敷義倉

江戸時代中頃に、倉敷村（現在の倉敷美観地区付近）に人々が麦やお金を出し合って成立した福祉制度のさきがけが倉敷義倉になります。集めた麦やお金を運用し、その利息を生活困窮者の救済にあてていきました。

倉敷の先人が創った倉敷義倉について紹介するとともに、江戸時代の福祉とその精神について学ぶ機会にしたいと思います。

日時 7月17日（木）10:00～11:30

会場 玉島市民交流センター2階 第2会議室
岡山県立博物館

講師 副館長 内池 英樹 氏

受講料 全3回 300円 *第2回はくらしき市民講座

定員80名

歴史資料整備室連携



問合せ:玉島公民館(倉敷市玉島阿賀崎 1-10-1 ☎526-7625)

■講演会開始2時間前の時点で「暴風警報」もしくは「特別警報」が発令している場合は中止とします。